



子どもの姿	ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<p>気温や体調に合わせて、自分で衣服の調整をしたり、手洗い、うがいを進んで行うが、中には雑になったり忘れてしまったりする子もいる。友だちを誘いあって鬼ごっこやドッチボールなどルールのある遊びを繰り返し楽しんでいる。また縄跳びを積極的にを行い目標を立て、達成できるように繰り返し挑戦している姿が多く見られる。廃材(ダンボール)を使って友だちと協力し合い、作りたいものをイメージしながら形にして楽しんでいた。保育者と一緒に大掃除や年賀状作り、餅つきなど年末年始の行事に親しみながら楽しさを味わうことができた。</p>	<p>○園生活のリズムを取り戻し、生活に必要な生活習慣を自分から行おうとする。 ○自分の思いや、考えを出しながら、皆で活動する楽しさを味わう。 ○冬の自然現象に気付き、見たり、遊びに取り入れれたりする。 ○お楽しみ会に向けイメージを持って表現することを楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7日(月) 新年集会 ・11(金) 英語 ・16日(水) 避難訓練 ・18日(金) お話し会 ・23日(金) 幼児集会 ・25日(金) 英語 	<p>・個々の体調や様子に合わせて、ゆっくり休息出来る雰囲気やスペースを用意する。</p>	<p>・散歩先等で積極的に挨拶をする習慣を身に付ける。</p>	<p>・休み明け、鼻水や咳で体調を崩している子はいたが、生活の乱れはなくスムーズに活動に入ることができていた。感染症が流行しているので手洗い、うがいがいしっかりできるように保育者も一緒に行い見本をみせることで意識を高めた。発表会の役決めでは、事前に紙芝居や音楽を聞かせ好きなイメージができてから役を選ばせたが、偏りがあった。話し合いの場をゆっくり持つようにすれば良かった。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>○手洗い・うがいを丁寧にを行い、健康に過ごせるようにする。 ○自分の思いや考えを伝えながら、安心して生活し、自分なりの力が発揮できるようにする。 ○お楽しみ会に向けて、友だちと協力しながら楽しく取り組んでく。 ○寒さに負けず、友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。 ○正月遊びや伝承遊びを楽しむ。(凧あげ・こままわし、福笑い等) ○自然現象の不思議さや変化に気付き、霜柱や氷で遊んだりする。 ○自分の思いや考えを伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ○凧に好きな絵を描き、出来上がった物で遊ぶ。</p>	<p>○手洗い場を清潔に保つ。 ○室内の換気・温度・湿度の調節をする。 ○子どもたちが話をしたり、伝えたいことが表現できたりするような場を設定する。 ○音楽を流したり、みんなで歌ったり踊ったりしながらイメージを膨らませていく。 ○体を十分に動かして遊ぶような活動を取り入れる。(縄跳び・鬼ごっこ・マラソン等) ○正月遊びや伝承遊びを複数用意する。 ○冬の自然が見つけられる場所に行く機会を設ける。(バケツやカップに水を入れて、水が凍る様子を観察できるようにする) ○友だちの話を聞いたり、自分の経験した事や思いを、自分の言葉で話せたりできる雰囲気をつくる。 ○凧作りの用意し(凧・ペン) 凧が広げられる場所やベンが使いやすいように配置しておく。</p>	<p>○手洗い・うがいの必要性をイラストで分かりやすく伝え、正しいやり方で風邪や感染症を予防できるようにする。 ○子どもの話したい気持ちを受け止め、安心して話せる雰囲気をつくり、満足感が得られるようにする。 ○一人一人の良い所を認め自信が持てるようにする。 ○保育者も一緒に体を動かして遊ぶ楽しさや、体を動かすと体が温まり丈夫になることを伝える。 ○正月遊びや伝承遊びの楽しさを一緒に遊びながら、分かりやすく伝える。 ○冬の自然に対する、子どもたちの気付きを受け止める。 ○霜柱や氷等の感触や踏んだ時の音に共感し興味・関心が広がるようにする。 ○子どもが話そうとする姿を見守り、子どもの話をゆっくりと聞くようにする。 ○凧を年齢に合った分かりやすいものにして一緒に遊びながら遊び方を教えるようにする。</p>		<p>・保育者が一緒の行うことで、意識が高められるように配慮し、慌てて行う子には声がけしゆっくりと行えようようにしていきたい。 ・休みの日の様子を発表したり、行事や歌の歌詞などについて話す機会を多く持ったりしたが、苦手な子ははずかしそうにしたり話に消極的な様子を見せたりしている。友だちの様子を聞いてからもう一度話したり、安心して話せる雰囲気作りを心掛けたりしながら自信へ繋げていきたい。 ・曲や踊りの楽しさから友だちの踊りを覚えたり、教えたりしながら協力して取り組んでいる。 ・ドッチボールを保育者で行ったことで流行り始め、クラスや年長児と行って楽しんでいる。縄跳びやばなな鬼など身体を動かして遊んでいる姿も多い。 ・新年集会で正月遊びを紹介したことで興味を持ちすぐろくやかるた取り、凧あげあそびを喜んでいる。 ・食事の時に保育者も同じテーブルで会話を楽しんだり、子どもたちが何かを伝えに来た時は耳を傾けるように心掛けた。些細なことでも伝えてくるが伝えられたことが自信に繋がるように導いていきたい。 ・年長児の凧の絵を見せたり、掲げている所を見たりしたので早く作りたくてワクワクしていた。凧一面に好きな絵をたくさん描き、凧あげを楽しみにしていた。</p>	
<p>○伝統的な料理や由来について知る。(おせち・七草粥等) ○食事の作法を知り、正しい姿勢で食べる。</p>	<p>○伝統的な料理に触れる機会をつくる。 ○正しい姿勢が描いてあるポスターやイラスト等を常に見える場所に貼る。</p>	<p>○絵本やイラストを使用し伝統的な料理に興味・関心がもてるようにする。 ○正しい姿勢の見本を見せたり、こまめに声掛けをしたりして綺麗な姿勢を意識する習慣を身に付ける。</p>		<p>・七草がゆを食べる前に調理士から由来の話があったので興味を持って食べている。完食する子が多かった。 ・こぼす量の多い子やきちんと座れていない子に、声を掛け意識させ少しずつきれいに食べるようにした。</p>	

養護生・情(健・人・環・言・表)